



～信更の子どもたちが、スズランの花のごとく明るく清らかに伸びてほしいとの願いを込めて～

校長室の窓

平成28年度 信更中学校へのご理解・ご協力に感謝

校長 小山 貴

瀬原が丘にも春の訪れを感じる頃となりました。明日16日(木)に平成28年度卒業証書授与式を控え、今年度の信更中学校教育活動も無事に終えることができそうです。

卒業生11名の皆さんの卒業を祝福するとともに、卒業生一人一人の前途に幸多からんことを祈念いたします。

先日は守人会様より「信更学」およびバドミントン部の活動に対して援護の証をいただきました。また、信更地区更正保護女性会様および社会を明るくする運動推進委員会様より卒業生に「鏡」を、同窓会様より同じく卒業生に卒業証書ホルダー(写真)を贈呈していただきました。

このように、信更中学校が、地域の皆様、保護者・同窓会の皆様のご厚意とご理解・ご協力によりお支えいただいていることに、心より感謝申し上げます。来年度も、小中連携と地域連携を一層大切にして学校づくりを進めてまいります。信更中学校への一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



今年度最後の校長講話がありました

【1学年通信より生徒の感想から】

今年度最後の校長講話で、校長先生から童話の「ウサギとカメ」を使ったお話をしていただきました。その中で、校長先生は2つの教訓について話されました。

1つ目の教訓は、ウサギからは「過信をしないこと(油断大敵)」、カメからは「地道な努力の大切さ」についてのお話でした。この教訓は、よく聞いたことがありました。

2つ目は、ウサギからは「周囲や相手のことばかりに気を取られてしまった」こと、カメからは「目指す目標・ゴールを、はっきりとして見失わない」ことがあるというお話でした。

これを聞いたときに、私は、「ウサギになりがちだな」と率直に感じました。2つ目の教訓のカメのような生き方はかっこいいなあと思ったので、これからはそういう生き方を目指していきたいと思いました。



信更学発表会 2月27日(月)

- 信更の人・もの・場所と出会い直し
- 地域の課題や将来を考え、様々なキャリア体験を積んで
- 自分の生き方を見つける学問

- 1年：りんごづくり・選果場体験と福祉施設訪問
- 2年：職場体験学習
- 3年：りんごづくり・ふじまつり

1学年 りんごづくりと選果場体験を振り返って

りんご栽培で行ったこと

- 1 オリエンテーション
- 2 花摘み
- 3 摘花・下草刈り
- 4 つがる収穫
- 5 ドルチェ収穫

今回は3種類のりんごを育てました。



花摘みは地味な作業だけど、これをしないとよい実はできないんだなあと思い、地味な作業が、とても大切だとわかった。



花摘み
中心花だけを残して他の花は摘んでしまう作業

ドルチェ収穫



《全体をとおして》

りんごをつくるためには、多くの作業が必要地道な作業でも一つ一つ、丁寧にやっていくことが大切。農業は、自然と深く関わる人なので、木が倒れたりすると収入が減るのでとても厳しい

《りんごの栽培から思ったこと》

信更町のりんごを守りたい。 信更町のりんごを広めたい。

2学年 信更学を振り返って ～私たちが、職業体験学習で感じたことや学んだこと～

職業体験学習で学んだことは



～学んだこと～

- 患者さんの不安を和らげる笑顔
- 言われたことに反応(返事)
- 患者さんと関わる時は笑顔
- 積極的にコミュニケーション

保育園の先生から学んだこと

気働きがしっかりとできる。空いた時間を有効に使う。

安全に遊ぶためには

目の届く範囲で。道路には、出ない。仲良く遊ぶ

保育園で学んだこと

真剣に取り組む
楽しむ気持ちを持つ

～職業体験学習のまとめ～

- 仕事はすごく大変
- ミスは許されない
- 相手とのコミュニケーション
- 笑顔を常に忘れないこと

3学年 りんごづくりとふじ祭りを振り返って

3年生の今年の信更学の歩み

裁判所見学・長野地方検察庁



「ふじ祭り」参加

11月27日に行われた「ふじ祭り」に、3年生全員でお手伝いに行きました！



りんごづくり

信更学から学んだこと

信更学

- ◆ 河合さんとりんごづくり
- ◆ 福祉の学習
- ◆ 地域の産業の学習

仕事の楽しさ・厳しさ

私たちが信更町の行事に積極的に参加していく

このことで

地域の活性化につながり、町おこしに貢献することができる